

# しちがはま

## 議会だより

No. 115

平成25年4月25日  
宮城県七ヶ浜町議会



うれしいな  
1年生になったよ

(汐見小学校入学の日)

特集	平成25年度 復興に使う大型予算	2
	これまでの議会活性化のあゆみ	12
	教育長の基本方針 など	16
	9人が質問	
	おらほの幼稚園紹介シリーズ ー第2回ー	27

平成25年度  
予算

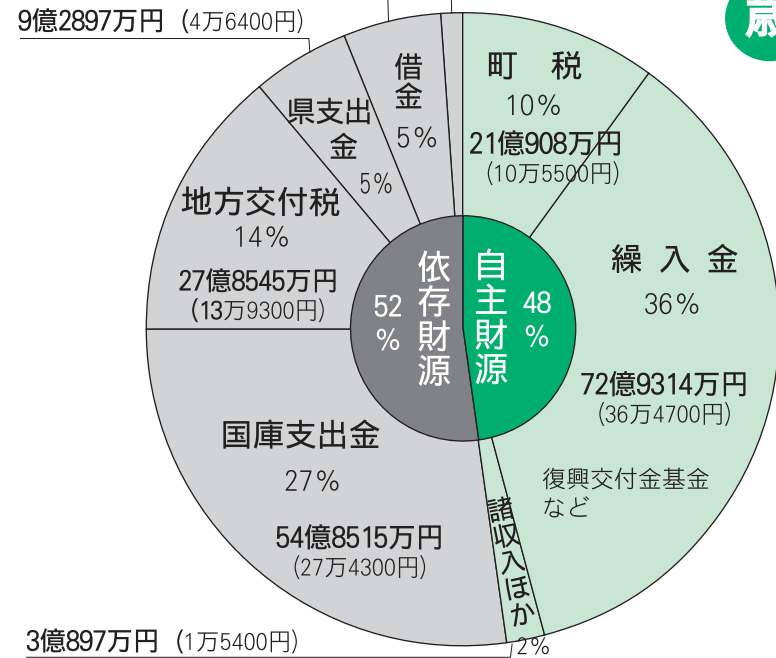
一般会計

# 七ヶ浜史上最大の 201億3000万円で 復興関連が約8割

スタート

その他 1% 2億894万円 (1万400円)

町債 10億1030万円 (5万500円)



歳入

収入の内訳は?

金額は千の位で四捨五入しています。  
( ) 内の数字は、町民一人あたりのお金です。



明日へ向かって力強く

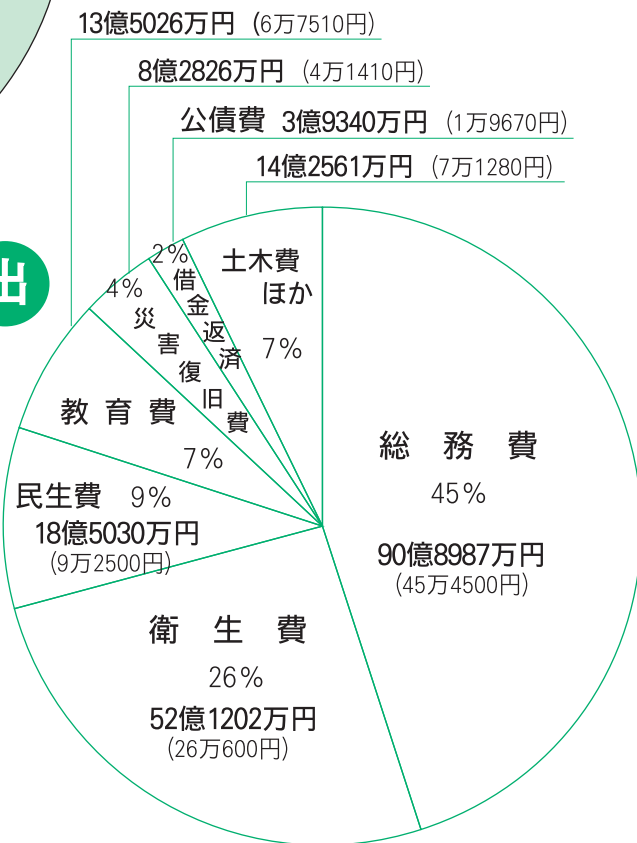
3月定例会を3月6日から18日までの会期で開催しました。  
平成25年度の当初予算を中心に、条例や24年度補正予算など議員提出議案を含め43件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。  
また、一般質問は9人が活発な議論を展開しました。

## 集団移転事業が本格化

項目	内容	金額
総務費	集団移転など	79億6913万円
衛生費	がれき処理など	46億7744万円
民生費	災害援護資金貸付金など	1億2814万円

歳出

何に使った?



予算はこのようになりました

当初予算額 補正予算額 ➡ 合計

年度	当初予算額	補正予算額	合計
21年度	51億5100万円	11億3500万円	62億8650万円
22年度	52億4500万円	9億5941万円	62億441万円
23年度	53億5700万円	150億8522万円	204億4222万円
24年度	129億円	292億1784万円	421億1784万円
25年度	201億3000万円	?	?



渡邊善夫町長

町長の決意

〈施政方針より抜粋〉

東日本大震災から2年が経過しましたが、住宅の再建や産業、地域コミュニティ、街並み・景観、公共施設の再生など震災前の自然豊かで町民の笑顔があふれ、快適で安心な生活を送れる町を目指して取り組んでいます。

主な事業

- 住宅の再建
- 高台住宅団地造成や災害公営住宅建設など。
- 産業の再生
- 6次産業化。
- 地域コミュニティの再生
- 町民夏まつりや安心・元気な地域づくりの補助など。
- 公共施設の再生
- 遠山保育所や給食センター、七ヶ浜中学校の改築など。
- クリーンエネルギーの推進
- 太陽光発電施設を役場と国際村に設置。太陽光発電装置を設置する家庭に補助など。

# ここが聞きたい

## 各課審査で質疑応答



利用しやすい運行を

**緊急雇用創出 16事業に128人 (2億652万円)**

**問** 通学路の安全巡回とは。  
**答** 教育総務課長 被災地区や七ヶ浜中学校付近など指摘があった場所の巡回をシルバー人材センターに委託する。

**問** 仮設住宅の入居者支援は。  
**答** 副町長 入居者の見守りや連絡などを各課が連携して対応する。

**町内バス路線調査 (300万円)**

**問** 町民バス「ぐるりんこ」利用者の要望は。  
**答** 政策課長 利用時間に関する要望が多い。

**東日本大震災記録集の内容は (800万円)**

**答** 総務課長 写真など目に見える形の物を残したい。

**MCA無線機30台の配置は (662万円)**

**答** 防災対策係長 10の消防分団にそれぞれ3台ずつ配置する。

**橋の修繕計画の場所は (120万円)**

**答** 建設課長 汐見橋と要害1号橋の安全性を確保するための調査である。

**備蓄品の保管場所は (100万円)**

**答** 防災対策係長 防災倉庫のほか、災害時に避難所となる学校など。



汐見橋



要害1号橋



太陽光発電施設を設置 (国際村)

**絆再生事業の内容は (2395万円)**

**答** 地域福祉課長 地域福祉向上のため、工房運営や災害ボランティア、生活相談などを町社会福祉協議会へ委託するものである。

**協働教育フラットホーム事業とは (146万円)**

**答** 生涯学習課長 地域全体で子どもを育てる環境づくりとして、地場産品を使った料理や着衣泳法、読み聞かせなどの事業を行う。

**クリーンエネルギー推進 (1億695万円)**

内容は、26ページの追跡をご覧ください。



遠藤 久和  
副委員長



鈴木 初雄  
委員長

平成25年度の各種会計予算審査は、特別委員会を設置して3月6日から15日までの日程で行いました。各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。主な内容を要約してお知らせします。



## 目玉事業です

### 災害公営住宅

松ヶ浜西原地区	30戸	住宅は県が平成26年度までに整備します。
菖蒲田浜林合地区	105戸	
花淵浜五月田地区	50戸	
吉田浜台地区	10戸	
代ヶ崎浜立花地区	25戸	



ボーリングによる調査 (林合地区)

5力所に222戸を整備します。

### 高台への団地造成

松ヶ浜西原地区	19戸	26年5月完成
菖蒲田浜中田地区	38戸	26年3月完成
花淵浜笹山地区	156戸	27年3月完成
吉田浜台地区	9戸	26年5月完成
代ヶ崎浜立花地区	15戸	26年7月完成



完成予定 (笹山団地)

5力所に237戸を整備します。

集団移転の促進 65億4000万円

## 公共施設の復旧

### 漁港復旧工事



復旧する菖蒲田漁港

7億2468万円

〈建設予定地〉

津波流出 および全壊で新設

松ヶ浜西原地区
菖蒲田浜和田地区
花淵浜安場地区
代ヶ崎浜立花地区

地震損壊で新設

湊浜二丁目
東宮浜吉子
遠山 (現敷地内)

供用開始は平成26年5月予定

高台住宅団地 花淵浜笹山地区に新設

### 地区避難所を整備

7億1500万円



47年ぶりに改築します

### 七ヶ浜中学校を改築

26年度開校へ6億5545万円

一般会計

反対：被災者の支援が十分ではない  
賛成：復興を加速させる予算である

討論

…なので反対します  
…だから賛成します

反対 歌川 渡

震災から3年目の復興事業だが、被災者に対し必要に応じた財政支援が十分に行われていない。  
被災により失業、離職した人の長期就業場の確保や、子ども医療費の助成を中学3年生まで拡大、仮設入居者への環境改善、児童遊園の施設に十分な支援がされていないので反対する。

賛成 我妻周悦

東日本大震災からの再生に向けた町民との合意形成で取り組む予算になっている。  
本町は、復興に向けて着実に歩み出しているが、今回の予算はさらに加速させるものとなっている。  
厳しい財政運営であるが、行政サービスの低下を招くことなく基本方針に即した予算であるので賛成する。

議決結果  
賛成14 反対1  
賛成多数で可決



まちの未来は僕たちが

平成25年度 各種会計予算額

会計名	平成25年度	平成24年度	前年度比			
			差引額	伸率(%)		
一般会計	201億3000万円	129億0000万円	72億3000万円	56.0		
特別会計	下水道事業	6億9600万円	6億9500万円	100万円	0.1	
	国民健康保険	21億5300万円	21億2600万円	2700万円	1.3	
	介護保険	13億2909万円	12億8595万円	4314万円	3.4	
	後期高齢者医療	1億5343万円	1億4998万円	345万円	2.3	
	公園墓地事業	1662万円	1611万円	51万円	3.1	
水道事業会計	収益的 *1	収入	5億3643万円	5億2449万円	1194万円	2.3
		支出	5億3274万円	5億2333万円	941万円	1.8
	資本的 *2	収入	1503万円	50万円	1453万円	2906.0
		支出	1億0428万円	9503万円	925万円	9.7

\*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用

\*2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入



ペットも家族の一員

災害公営住宅

問 犬や猫などのペットと居住できるのか。

答 建設課長 町の公営住宅条例では禁止だが、被災者の心情を考慮して意向調査をしたい。

水道

問 被災して高台へ移転したが、水道加入金は必要なのか。

答 水道事業所長 県内の被災事業者の対応状況を調査し検討した結果、減免はできないと決定した。

公園墓地

問 既存ブロック(A・D)の使用率は90%である。

答 環境生活課長 1536区画の内余っていてもEブロックを造成するのか。

答 墓地の申し込みが増えているので、今後8年で満杯になると見込んでいる。

未熟児養育医療給付

問 事業の内容は。

答 健康増進課長 出生体重が2500グラム以下で、医師が養育治療の必要を認めた乳児の保護者への給付事務を実施するものである。

子育て支援センター

問 廃止した汐見保育所を改修するが、子育て支援センター所長 母子センターを借りて子育ての支援を行ってきたが窮屈で不便を掛けた。旧保育所は部屋が多く有効に活用できる。



子育て支援が充実します

敬老会

問 写真代に名簿は含むのか。また、出欠確認の通信費とは。

答 健康増進課長 記念写真は75歳が対象で120人分。名簿作成は検討したい。通信費は汐見台、汐見台南地区と町外に居住する対象者に、出欠の確認用八ガキ代470人分である。

検挙件数 県内ワースト1 飲酒運転根絶

問 汚名返上対策は。

答 総務課長 春、秋の交通安全全期間中の、のり出し作戦などで啓発する。

コンビニ納税

問 費用対効果より町民の利便性を重視し、導入したが効果は。

答 税務課長 広くPRして税金を納めてもらうように努めたい。

環境美化の推進

問 しちがはま環境大賞を町民にアピールする考えは。

答 環境生活課長 中央公民館のキッズルームの場所に応募作品を展示してPRする。



24年度の受賞作品

# 議案審議

## 復興事業が加速 震災復興推進課を設置

# 正算補予

平成24年度一般会計補正予算（第9号・第10号）は歳入歳出それぞれ1億3647万円を追加し、総額を421億1784万円としました。補正の主なものは、被災住宅再建支援や国からの復興交付金第5回配分や24年度工事未完成による減額などで、質疑・討論の結果、反対なく原案のとおり可決しました。

# 被災住宅の再建支援が行われます

## 県から9億2800万円

### 質疑

津波被災住宅再建支援  
(9億2800万円)

**問** 支援内容の説明を。

**答** 政策課長 県から補助されるもので、定住促進を目的として次の3点の条件を満たす必要がある。  
①浸水区域である。  
②高台移転である。  
③町内に居住する。  
該当者や補助要綱を検討中である。

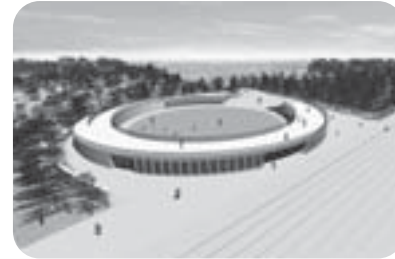


菖蒲田海浜公園イメージ  
(陸側から)

国からの第5回配分  
(4億4861万円)

**問** 配分の事業内容は。

**答** 政策課長 復興交付金に積み立てて、菖蒲田浜背後地の都市公園設計や代ヶ崎浜等の雨水対策（水中ポンプで強制排水）、高台造成による残土の仮置場借地料等に活用する。



菖蒲田海浜公園イメージ  
(海側から)

災害公営住宅設計等  
関連事業の減額  
(▲4億6586万円)

**問** 減額の理由は。

**答** 政策課長 当初の県の計画に対し住宅規模等が変更となり、金額が大幅に減額となった。減額は基金に戻す。

学校給食センター建設  
工事関連事業の減額  
(▲1億円)

**問** 減額の理由は。

**答** 財政課長 工事は開始したが、25年度の支払いとなるため繰り越した。また、国の交付金や備品の購入等で財源の組み替えがあった。

融雪剤・除雪関連  
(595万円)

**問** 24年度は雪が多く、除雪作業の内容が十分ではない。特に通学路は注意が必要では。

**答** 建設課長 調査し委託業者に指導、監督をしたい。

### 条例改正

3月定例会では、地方主権一括法の施行に伴う条例や契約、認定などを審議し、原案のとおり可決しました。

●震災復興推進課を新設

**内容** 政策課内にあった推進室を集団移転などの復興事業を加速させるために独立しました。復興の総合企画と調整や復興に伴うまちづくりに取り組みます。

●夕見保育所を廃止

**内容** 遠山保育所のオープンと認定こども園で町内の保育が可能と判断し廃止するものです。施設は改修し子育て支援センターとして活用します。



オープンした遠山保育所

### 工事契約

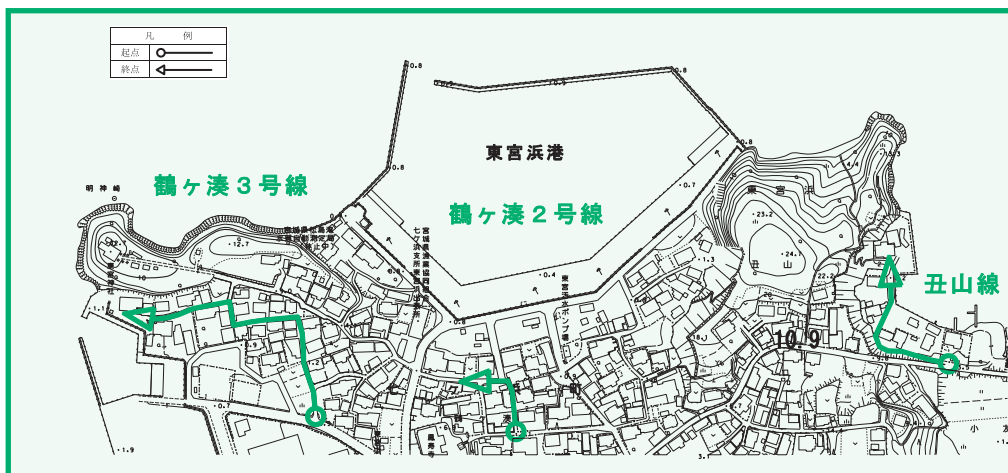
工事名	契約先	金額	工期
笹山地区 高台住宅団地造成ほか	佐藤工業(株) 東北支店	9億9172万円	平成27年3月31日
菖蒲田浜中田地区 高台住宅団地造成ほか	佐藤工業(株) 東北支店	2億8549万円	平成26年3月31日
町道笹山線道路改良	大林道路(株) 東北支店	1億9918万円	平成27年3月14日

### 変更契約

菖蒲田・松ヶ浜漁港 災害復旧	みらい建設工業(株) 東北支店	1億6754万円 (3535万円の追加)	岸壁設備の追加
遠山保育所改築	松井建設(株) 東北支店	2億4028万円 (981万円の追加)	園庭の雨水排水強化

### 認定

地盤沈下した道路の雨水排水を改善するため次の道路が町道になりました。



第1回定例会 提出議案採決結果一覧 (3/6~3/18)

議案番号	議案名	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川渡	遠藤久和	角靖志	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
議案第5号	議会の議員その他の非常勤の職員の公務災害等に関する条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	課設置条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	職員の給与に関する条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	都市計画税条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	保育所条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	指定地域密着型サービス事業者、介護予防サービス事業者の指定に関する条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	指定地域密着型サービスの事業の運営に関する条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の運営並びに効果的な支援の方法に関する条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	町道の構造の技術的基準等の条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	移動等円滑化に必要な道路の構造に関する条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	移動等円滑化に必要な特定公園施設の設置に関する条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	都市公園条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	道路占用料条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	町営住宅管理条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	公共下水道の構造の技術上の基準に関する条例	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	水道事業企業職員の給与に関する条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	給水条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	工事請負契約「平成24年度花洲浜笹山地区高台住宅団地造成及び公共施設整備工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	工事請負契約「平成24年度町道笹山線道路改良工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	工事請負契約「平成24年度菖蒲田・松ヶ浜漁港災害復旧工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	工事請負変更契約「平成24年度菖蒲田・松ヶ浜漁港(岸壁・物揚場)災害復旧工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第27号	町道路線の認定	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	平成24年度一般会計補正予算(第9号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第30号	平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	平成24年度公園墓地事業特別会計補正予算(第2号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	平成24年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	平成24年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	平成25年度一般会計予算	14	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	平成25年度下水道事業特別会計予算	14	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	平成25年度国民健康保険事業特別会計予算	14	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	平成25年度公園墓地事業特別会計予算	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	平成25年度介護保険特別会計予算	14	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算	14	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	平成25年度水道事業会計予算	14	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	工事請負契約「平成24年度菖蒲田浜中田地区高台住宅団地造成及び公共施設整備工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	工事請負変更契約「平成24年度遠山保育所改築工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	工事請負変更契約「平成23年度汚水管渠災害復旧工事(第2処理区分・その2)」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	平成24年度一般会計補正予算(第10号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○賛成 ×反対 議長(佐藤梶信)は採決に加わらない。



国へ意見書を提出

議員 提案

今定例会に意見書を議員提案し、全会一致で可決。国へ意見書を提出しました。

東日本大震災被災者に対する介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担に要する財政措置を求め、引き続き財政措置を求めたい。

介護保険の利用者負担軽減の延長と介護保険施設の食費・居住費の減免支援を、国の全額財政負担で実施してもらうように要望するものです。

東日本大震災被災者に対する医療費一部負担免除を被災市町村の負担に要する財政措置を求めたい。

被災者が安心して医療機関を受診できるように医療費一部負担免除の継続を要望するものです。

提出先  
衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 財務大臣  
厚生労働大臣 復興大臣

臨時議会

2月15日に第1回臨時会を開催しました。高台住宅団地造成等に伴う一般会計補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

条例改正

留守家庭児童保育館設置及び管理に関する条例

工事契約

七ヶ浜中学校校舎解体契約先 鹿島建設(株) 東北支店

内容 さくら児童館が亦楽小学校の特別教室へ移設します。

金額 8662万円  
工期 平成25年8月30日

地域福祉課長 旧給食センター側にあるプレハブの空き教室を改造して、さくら児童館とする。

財産の取得

花洲浜笹山地区高台住宅用地3万6097・88㎡  
取得の相手方 学校法人東北学院  
取得金額 7060万円

教育総務課長 アスベストが含まれている建材の部分と、吹き付けの部分がある。アスベスト吹き付け部分はシートで覆い、湿潤性を保つために湿らせた形で処分する。

宅地や山林、原野のそれぞれの単価は。

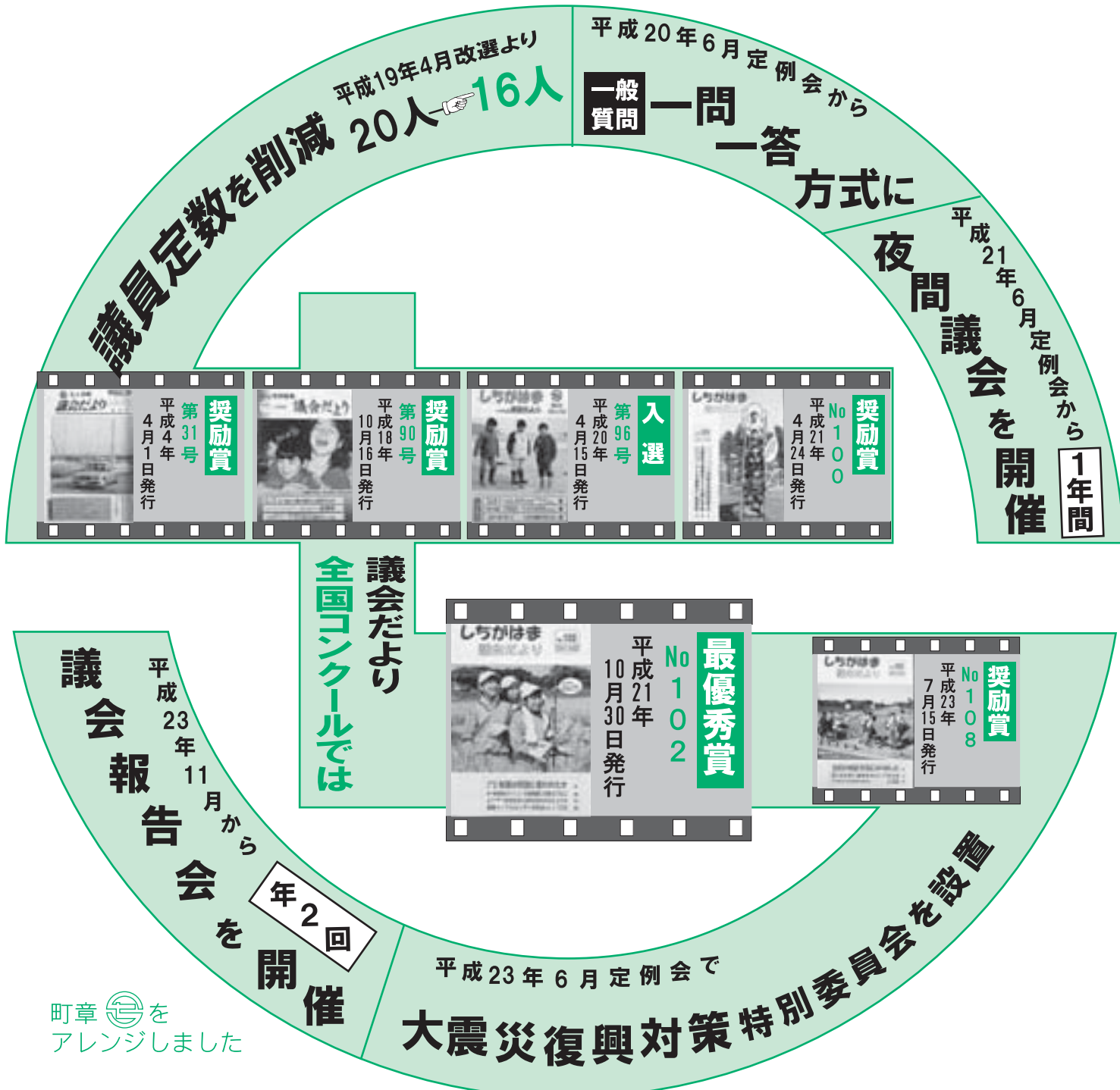
財政課長 宅地は㎡あたり1万3700円。山林、原野は㎡あたり1080円。

第1回臨時会 提出議案採決結果一覧 (2/15)

議案番号	議案名	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川渡	遠藤久和	角靖志	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
議案第1号	七ヶ浜町留守家庭児童保育館設置及び管理に関する条例の一部改正	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	工事請負契約「平成24年度七ヶ浜中学校校舎解体工事」	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	財産の取得	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	平成24年度一般会計補正予算(第8号)	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○賛成 ×反対 議長(佐藤梶信)は採決に加わらない。

# 議会活性化のあゆみ



町章 をアレンジしました

**議会だより 全国コンクールとは**

毎年、全国の町村議会から出品された約200紙の議会だよりを、専門家が議事公開、住民参加分りやすい文章、魅力ある紙面など、住民に理解される編集になっているかを総合的に審査し20紙が受賞します。

しちがはま議会だよりは平成19年度(第90号)から5年連続で受賞。22年度は近隣の、りふ議会だよりとデッドヒートの末、胸ひとつの差で全国第1位となりました。  
(審査委員評)



### 議員定数の移り変わり

平成19年(2007)	昭和34年(1959) 1月1日 七ヶ浜町 戸数: 1,970 人口: 13,118人	昭和30年	昭和22年	大正6年	明治40年	明治22年(1889) 4月1日 七ヶ浜村 戸数: 555 人口: 4,157人
定数を16人に。	町議会議員となる。	定数を20人に。	選挙で26人。	地方自治法による	任期が4年に。	納税額による選挙で村議会議員12人。任期3年でスタート。18人に。



**一問一答方式を採用**

一般質問は議長の許可を得て、議員が町の一般事務の政策を執行部に質問するものです。これまでの一括方式(質問は3回まで)から、答弁を含めた60分以内に何回でも質問することができるよう一問一答方式としました。



**議会報告会を開催**

夜間議会の試行後、皆さんに開かれた議会を目指すため議会報告会の開催を検討してきました。

議員を5人編成とした3つの班が各地区に出向き、町政に関する情報の提供や議案の説明責任を果たします。また、皆さんの声を聴取することも大きな目的で、年2回程度開催します。



**夜間議会の開催**

議会は平日の日に開きますが、皆さんの議会傍聴の機会を増やすため、1年間(4回)試行として実施しました。結果を総括し、議員の調書や傍聴者のアンケート、費用対効果などを総合的に判断し終了することにしました。

**大震災復興対策特別委員会を設置**

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による巨大津波で、本町の沿岸部は壊滅的な被害を受けました。議会は、3月24日に今後の対応を協議し、町に被災住民の応急仮設住宅確保と在宅者への食糧支援を申し入れしました。

その後、特別委員会を設置し住民懇談会や現地調査などに取り組みました。24年9月に改選した議会でも継続して取り組んでいます。

## 議会 特集

# 議会改革に一致団結

# 委員会レポート

## これも議会の仕事です

### 総務

#### 災害に強いまちづくりの 先進地視察を

これまで食料・飲料水や生活物資の確保などを調査し、自主防災会との懇談会の意見、要望を平成24年12月定例会で一般質問を行い、町から一定の回答を得ました。

今後はどのように活動するかを本年1月18日の委員会で協議し、調査事



新しい防災倉庫（松ヶ浜小の東側）

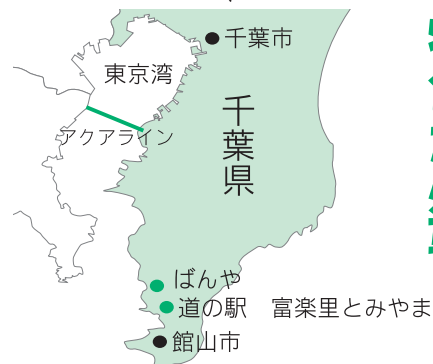
#### 研修レポート 個性的な特色が必要

本町の地場産業を復興させるため、6次産業化を目指す花洲浜ハーバースクエアまちづくり事業が計画されました。漁協農協、商工会が主体の官民連携事業です。

委員会は6次産業化の実態を調査するため、平成24年12月17日、18日に先進地である千葉県南房総市の富楽里道の駅・網納屋（岩井漁協が運営）と鋸南町のぼんや（保田漁協が運営）を視察研修しました。

網納屋は、公設民営で立地条件の良さから集客が伸びています。

レストラン事業が主体ですが、現在の場所に移る前は、近くの仮設店舗



で3年間営業。地元の人たちが多く利用するなど、人気で定着しました。

行政の支援は広報が主体であり、インターネットの観光サイトや新聞等に情報を提供しています。

ぼんやは、漁港近くの国道沿いにあり有料道路の出入口やアクアライン

も近く立地条件に恵まれています。平成7年、中古のコンテナ2台を店舗に漁業者向けの食堂として開業。鮮度、味、価格などが好評で行列ができるほどの人気になり、今では年間50万人以上が訪れます。

視察先の共通点は、後継者不足や組合経営の危機感から組合長の強力なリーダーシップにより開業した点と、交通の利便性が高い場所に立地しているなどでした。

本町の6次産業化に向けては、交通の利便性が著しく劣るため、他にはない個性的な特色が必要になります。



成功の秘訣は（網納屋で研修）

#### 3施設が建設へ 本格化

調査事項の「公共施設（教育・福祉）の復興策について」復興の進捗状況を各担当課から説明を受けて状況把握し協議しました。

3施設の進捗状況の主な内容は、

●七ヶ浜中学校の建設は設計段階で委員会からの要望に対し、非常口や避難路の機能、トイレの配置、学年ごとの教室の配置等が反映されました。これから解体・建設工事へと移り平成26年度内の開校予定です。

●地区公民分館の建設はこれまで4回のワークショップを行っています。本年4月から造成工事に

#### 本格化

着手し、6月に実施設計後改築していく予定です。

●学校給食センターは2月26日に起工式を行い、今後建設が本格化して平成26年4月からの供用開始を目指しています。

今後は、七ヶ浜中学校と旧給食センターの解体や給食センターの改築の現地視察を行っていきます。ほかの施設は担当課から情報を入手しながら進捗状況の調査をしていきます。



工事の安全を祈願（給食センター）

### 議会 運営

#### 議会報告会の 新たな取り組み

議会報告会は議員が地域に出向き、直接町民に議会活動の報告や、町や議会に対しての意見、要望などを聴取する機会として開催してきました。

議員全員が町内を一巡し、報告会に対する関心の違いや、地区特有の抱えているさまざまな問題をj知ることができたことは大きな収穫でした。

町民の声を「町に対する意見等」として取りまとめ町からの回答を求めています。

今年度開催する報告会は、昨年の報告会をさまざまな方面から検証した結果、年2回、次の要領で開催します。

- 開催曜日  
平日から土日の開催に。
- 時間帯  
夜間から日中の午前と午後の1日6会場。
- 開催場所  
仮設住宅集会所での開催も追加。

※詳細は開催案内（チラシ）をご覧ください。

#### 大船渡市からの 視察研修

本年1月28日、岩手県大船渡市から議会だより編集委員会7人の訪問を受け、互いに熱心な意見交換や研修を行いました。

大船渡市も今回の東日本大震災の津波により大きな被害を被っています。が、そのような環境の中でも市民に読みやすく、親しみやすい紙面を提供したいという強い思いが研修姿勢に表れていました。

また、大船渡市の場合、一般質問は行政の1回目の回答書から掲載するルールがあり、改善策を念頭に置いているようです。

議会だよりは、常に住民が読むものであるということを念頭に置き編集するとの基本をお互いに再確認した研修でした。



大船渡市編集委員と研修

### 教育 民生

### 議会 広報





いとひさ ひろし  
糸久 博 議員

# 居住確保に向けた取り組みは

## 町長 笹山と中田団地は業者と契約



宅地造成の一步がスタート

**問** 3・11大震災からの復興に向けた前期基本計画で、被災者の居住確保を最重点事業とした意向調査や申し込み調査により、高台住宅団地および災害公営住宅の戸数が確定した。他の被災地では、住宅団地の造成工事で入札不調が問題になっているが本町の状況はどうか。

**答** 町長 予定場所の5地区の内、笹山と中田は業者と契約した。他の地区は設計中であり終了後、町の指名委員会にて一般競争入札を進める。

**問** 165世帯が入居する笹山地区を行政区としてどのように位置付けるのか。

**答** 笹山には菅浦田浜や花洲浜、汐見台南の地区の方が入居するが、現在まちづくり協議会で議論している。単独区が従来区か意見が分かれているが、時間をかけて協議し、合意形成が得られれば町は柔軟に対応したい。

**問** 災害公営住宅は県に委託して整備するが、入居して数年後に空き室が発生した時の対応は。

**問** 平成25年度の一般会計は史上最大規模の当初予算額だが、77%が使い道の決まっている震災関連事業費である。大震災からの早期復興に向け、各種団体等に交付している補助金を見直し、歳出削減に努める考えはないか。

## 補助金を見直し歳出削減を 町長 今だからこそ必要な面もある

**答** 町長 緊縮した予算編成となったが、補助金は震災後の今だからこそ基本目標の人とともに築くまちづくりをするためにも必要な面もある。

**問** 本町の復興が感じられるまでの時限的措置として、民間の第三者による検討委員会を設置し、凍結や縮減、廃止などの審査を行ったらどうか。

**答** 平成16年度に補助金等適正化委員会を検討してから9年経過した。補助金を交付している事業の必要性や方向性を検討することが必要な時期にきていると考える。復興の進捗状況と財政状況を見極めて対応していきたい。



ズバリ

# 町政を問う

## 一般質問一覧表

3月定例会の一般質問は、15日と18日の2日間行い、9人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で16ページから25ページに掲載しています。なお一覧表のタイトルは通告のとおりです。

### 糸久 博 .....17ページ

- ・震災復興計画の実現に向けて
- ・補助金の検討を

### 郷右近剛史 .....18ページ

- ・慰霊碑の建立・震災復興祈念施設の建設について
- ・教育長の基本方針といじめ問題・体罰問題の対応について

### 歌川 渡 .....19ページ

- ・七ヶ浜町公契約条例の制定を
- ・被災者に寄り添った生活再建施策の実施を
- ・子どもの「いじめ」、教育現場での体罰の根絶への取り組みについて

### 遠藤 喜二 .....20ページ

- ・森の防潮堤について
- ・がれき金属換金着服について

### 渡 邊 淳 .....21ページ

- ・環境に配慮した町づくりについて

### 鈴木 勝美 .....22ページ

- ・花洲浜ハーバースクエア近辺のレッドゾーン内の商業用地について
- ・代ヶ崎浜清水地区の避難路について
- ・6次産業化について

### 岡崎 正憲 .....23ページ

- ・町民窓口ワンストップ化について
- ・町の知名度アップについて

### 千葉志美枝 .....24ページ

- ・介護支援ボランティア制度の導入について
- ・「青年模擬議会」の開催について

### 角 靖志 .....25ページ

- ・雨水の有効利用について



うたがわ わたる 歌川 渡 議員

# 被災者に寄りそった生活再建支援の実施を



医療費免除を続けて



ごうこん たけし 郷右近 剛史 議員

# 慰霊碑・震災復興祈念施設は

## 町長 検討しなければならぬ時期

**問** 東日本大震災から2年が経つが、震災を風化させることなく後世に残すため、慰霊碑を建立する考えはあるか。

**答** 町長 近いうちに慰霊碑の建立を検討しなければならぬ時期であると考えている。



慰霊碑の建立予定地（蓮沼苑）

**問** 具体的な場所・時期は検討しているのか。

**答** 一つの案として、蓮沼苑のモニュメント広場あたりはどうかと検討していた。平成25年度に蓮沼苑の区画増設工事の設計委託を予定しているため、それと併せて考えたい。

**問** 震災復興祈念施設を建設する考えはあるか。

**答** 太平洋に面した場所に、震災を風化させないためのメモリアル公園を造り、モニュメントを設置したい。

**問** 例えば、中央公民館の中のフロアに震災の写真を展示したり、震災の映像を流したりするスペースを作るとは、

震災を風化させることなく子どもたちの防災教育の一助にもなると思うが、その考えはあるか。

**答** 中央公民館を約3億円で改修する予定で復興交付金がついている。その中の一室を展示スペースにしたい。

## 教育長の基本方針は

### 教育長 学力向上と不登校対応

**問** 教育長就任から6ヶ月が経つが子どもたちのより良い教育環境を作るため、教育長の基本方針はどのようなものか。

**答** 教育長 今年度は学力向上と不登校対応の2点が重点である。

**問** 学力向上では、どれくらいの数値目標を設定しているのか。

**答** 全国学力・学習状況調査によると本町は全国平均を超えていない。

町内5つの学校が、調査対象の教科すべてにおいて全国平均を何とか超えたい。

**問** 具体的にはどのような施策を考えているのか。

**答** 授業の改善に尽きる。さらっと流れる授業が見受けられた。なかなか理解ができない子どもに対して、熱意を持った迫力や気力が先生にあってもいいと思う。

**問** 不登校対応では、どれくらいの数値目標を設定しているのか。

**答** 本町では不登校児童生徒数は20人を数えており、不登校予備軍を加えると40人を超える。この実態を何とか改善したい。

## 町独自の住宅再建支援を 町長 検討している

**問** 県の住宅再建支援で、津波浸水区域の大規模半壊以上の世帯へ支援が行われる。今だに浸水区域外の大規模半壊被害世帯への財政支援がない。町独自住宅再建の財政支援が必要ではないか。

**答** 町長 津波浸水区域外の大規模半壊以上の世帯にも、大規模修繕等に対し基金交付金での独自支援を検討している。また、災害公営住宅に移転する世帯で、移転促進区域外の世帯の移転費用も検討している。

## 医療費一部負担金の 免除継続を 町長 国の全額支援が必要

**問** 国は4月以降も一部負担金の2割を財源負担する市町村に免除継続の支援を行うが、町に寄せられた震災寄付金約9億4000万円等の活用で被災者の健康と命を守るために減免継続をすべきではないか。

**答** 町長 一部の健康保険者の中で不公平が生ずる。町の国保財政状況から国の全額支援がなければ難しい。県へ継続を働きかけていきたい。

## 公契約条例の制定を 町長 現時点で制定の考えはない

**ひと口メモ**  
公契約条例とは  
公共工事の受注者は労働者に地方自治体が指定した賃金を確保させることを規定している。指定される賃金は国の最低賃金法に基づいて規定される最低賃金よりも高く設定されている。

## いじめ根絶の取り組みは

**問** いじめ事件の解決後の当事者のフォローや状況把握体制は。

**答** 教育長 生徒指導主任が中心となり、民生委員やPTAも交えた「いじめ問題検討委員会」で意見交換している。

## 学校での体罰の実態は

**問** 体罰の実態調査はしているのか。

**答** 教育長 2月に教員や児童・生徒、保護者への調査を実施。

**問** 体罰に対する教育長の考えは。

**答** 学校教育法第十一条で「…体罰を加えることはできない」と定められている。強制的有形力で問題を解決する手段は容認できない。



わたなべ あつし 渡邊 淳 議員

# グリーンエネルギーで町づくりを

## 町長 関心はあるので検討したい

**答** 町長 被災地8市7町で構成するスマートコミュニティー連絡協議会に参加している。技術革新の動向や問題を注視しながら環境関連産業が与える町づくりの有用性を検証し、震災復興計画の内容を固めていく。

**問** 被災沿岸地域では復興スローガンの意味をもたせた環境未来都市構想を策定している自治体もある。本町もグリーンエネルギーの普及促進や省エネ対策事業を推進する。スマートコミュニティー事業を通じてエネルギーの地産地消による災害に強いまちづくり整備は考えられないのか。

**問** 町はエネルギー政策を持っておかなければいけないのでは。町はエネルギー政策を持っておかなければいけないのでは。

**答** 町の初期投資に問題があるためできるものから実施する。

**問** 構想として持たないとは踏み出せないのではないのか。近隣市町村と協同行う考えはないか。

**答** スタートしたばかりなので事務レベルで可能性追求をしていく。

**問** 電力やJXではクリーンエネルギーが生まれている。こうしたエネルギーを地区の防災性向上を目的とした活用を図り、災害に強いまちづくり整備にも検討が行えないものか。特区制度や

**答** 新年度予算では災害避難所に3年計画で太陽光発電を設置する。具体的には国際村に太陽光発電施設20KW1基で1000人収容可能にする。町民や事業者共に町と協

**問** 先進的に民間の投資を呼び込む施策を取り始めている自治体もあるが、本町はこうしたやり方を具体的に取組むことは検討しているのか。

**答** 導入を検討している。多賀城市や東松島市などの実現性を見ていきたい。



えんどう よしじ 遠藤 喜二 議員

# 常緑広葉樹の森の防潮堤は

## 町長 混合保安林を検討している

**問** 本町は、部分的ではあるが県立自然公園や特別名勝松島になっている。これ以上のコンクリートの防潮堤は必要か。

**答** 町長 県が整備するものであり、海岸の前線インフラ施設として重要な位置づけである。

**問** コンクリート防潮堤の背後地に、散策道やあずまやを備えた町民の憩いの場となる常緑広葉樹の森の防潮堤は。

**答** 津波被害を減衰する役目のほかクロマツと広葉樹の混合保安林機能としての景観の心地よさ、快適さや多くの生き物の住む生物多様性の高い森にしたい。

**問** コンクリート防潮堤の内側を覆土し、コンクリートを隠した緑の景観にできないか。

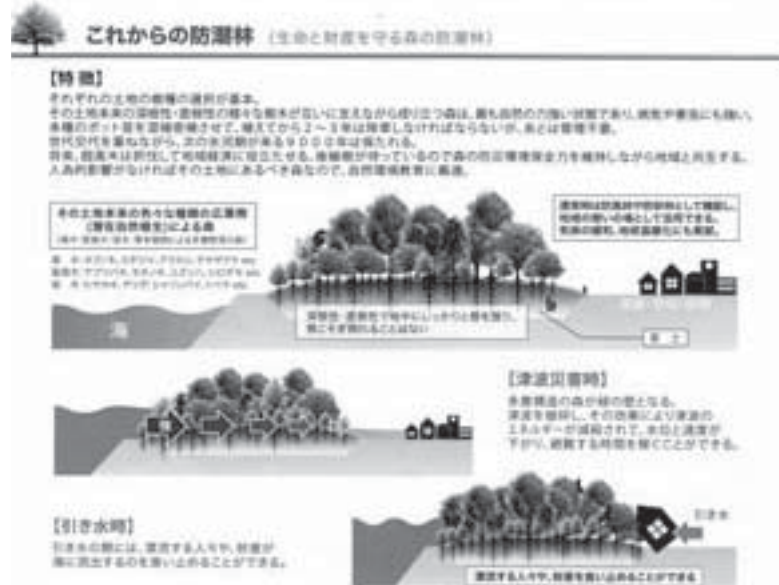
**答** 景観に配慮したものにしたい。

**問** コンクリート防潮堤の場合、町建設安全協力会を通じて弁済を求められる。

**答** 町としても、一刻も早く事実が明らかになるよう警察に全面協力する。

**問** 専門家や見識者による第三者委員会の設置による本人からの聞き取りは。

**答** 現時点では設置する必要はないと考え塩釜警察署にゆだねている。



# 換金着服の聞き取りは

## 町長 塩釜警察署にゆだねている

**問** 新たな全国版のがれき金属換金着服の新聞記事に対する感想は。

**答** 町長 町民の皆様には大変心配をおかけしている。

**問** 町建設安全協力会から出された顛末書の内容から、町に対する損害金の弁済発生はないか。

**答** 事実関係が明らかになり損害金が発生している。

**問** 町建設安全協力会の場合、町建設安全協力会を通じて弁済を求められる。

**答** 町としても、一刻も早く事実が明らかになるよう警察に全面協力する。

**問** 同じ轍を踏まないための対応策は講じているか。

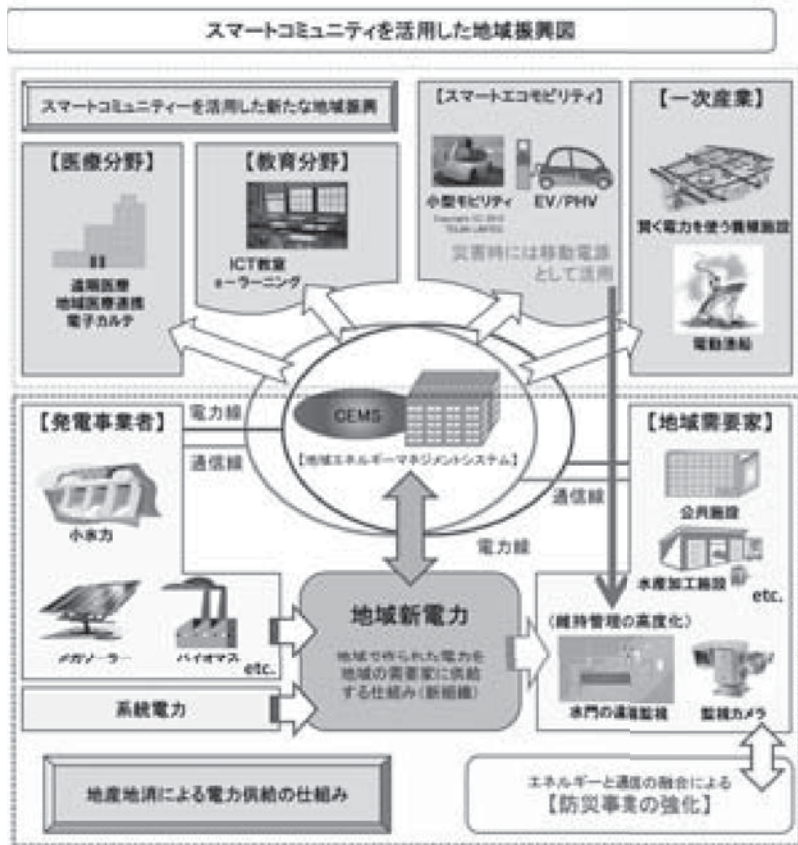
**答** 町建設安全協力会から出された顛末書の内容から、町に対する損害金の弁済発生はないか。

**問** 町建設安全協力会から出された顛末書の内容から、町に対する損害金の弁済発生はないか。

**答** 事実関係が明らかになり損害金が発生している。

**問** 町建設安全協力会の場合、町建設安全協力会を通じて弁済を求められる。

**答** 町としても、一刻も早く事実が明らかになるよう警察に全面協力する。



### ひとメモ

**スマートコミュニティ**  
化石燃料の高騰や地球温暖化も深刻化になるなか、再生エネルギー（太陽光・風力・水力等）を最大限に活用し消費を最小限に抑える。再生エネルギーと交通システムをネットワークでつなげ地域エネルギーを有効活用する次世代の社会システム。



おかざきまさのり 議員 岡崎 正憲

# 町民窓口をワンストップ化に

## 町長 現状で職員が出向く努力をしたい

**問** 町民が、分かつたりやすく待たせることなく対応することは目指す目標であり、その方法としてのワンストップ化は理想とするものである。以前検討した経緯はあるが、役場のフロアは狭く移動距離も比較的短いとの認識で現在の配置となった。庁舎の改築も必要になり、現状では困難である。

**答** 町長 町民が、分かつたりやすく待たせることなく対応することは目指す目標であり、その方法としてのワンストップ化は理想とするものである。以前検討した経緯はあるが、役場のフロアは狭く移動距離も比較的短いとの認識で現在の配置となった。庁舎の改築も必要になり、現状では困難である。

**問** 庁舎改築など費用対効果の問題ではなく、サービスの本質と考えるが。

**答** 庁舎入口に来庁者が分かるように窓口番号を表示したい。また、各課にまたがる手続きは現在使用しているチェックリストを活用する。



一カ所で済ませたい（町民課の窓口で）

**問** 将来の構想として検討する価値があるのではないか。

**答** スペースや組織、人員と多くの課題がある。現状では、担当職員が可能な限り出向く努力をすることに対応したい。

**問** 今回の大震災では、地震発生時の電源確保や通信手段の断絶で外部への被害の発信に遅れを取った感がある。支援活動にも少なからず影響を及ぼす結果となり、日常の町のPR不足も支援の遅れに拍車をかけた。今後、マスコミやテレビ番組等への参加で積極的にPRする考えは。

**答** 町長 発信手段として広報紙やホームページの活用。町が開発したラー油ではマスコミの報道もあった。また、国際村でのインターナショナルデイズやNana's 931やGroove7の七里ヶ浜や神戸、名古屋、東京公演等で行われたPR大使のように七ヶ浜町の存在を全国発信してきた。今後も引き続きマスコミ等を通じて積極的に発信して行きたい。

**問** 町の復興や新産業、雇用の創出を生むような町内事業者および熱意のある企業を幅広く募集することを念頭に検討していく考えである。

**答** 町長 多賀城・七ヶ浜商工会と業務委託契約を結んだ。事業者の組織形態を確立し、さまざまな企画立案を行うことで、事業推進が可能であると報告を受けている。

**問** 町として現時点で町内事業者の受け入れをどれだけ見込んでいるのか。

**答** 町長 町民報テレビCM大賞への参加等も有効ではないか。

# 町の知名度アップに努力を

## 町長 あらゆるメディアを活用し発信したい



かずみすずき 議員 鈴木 勝美

# レッドゾーン内に土地は持てないか

## 町長 条例案をもとに調整

**問** レッドゾーン内の個人所有の土地を保持しておきたいとの要望に対し移動しなければならぬのか。

**答** 町長 保持は制度上可能であるが、区画整理事業の趣旨から調整が難しくなる。地権者の意向に添いながら全体の土地利用の条例案をもとに調整していきたい。

**問** レッドゾーン内はかなる建物も建築禁止でなく、第一次産業の事業者が必要とする乾燥庫や作業所は可能なのか。

**答** 水産業など第一次産業を主とするものや製造、加工、販売、マリンスポーツ関連の二次、三次産業まで配置を考慮しながら、土地の利用計画を決定する考えである。

# 6次産業化の考えは

## 町長 幅広く募集

**問** 関係団体の会員にどれだけの説明をしているのか。永年にわたり自力で事業をおこし頑張ってきた町内事業者と、支援金で参加する町外事業者とが競合すれば町内事業者が経営難に陥る恐れもある。

**答** 町長 町民報テレビCM大賞への参加等も有効ではないか。

**問** 町民報テレビCM大賞への参加等も有効ではないか。

**答** 町長 町民報テレビCM大賞への参加等も有効ではないか。

**問** 代ヶ崎浜の消防ポンプ置場周辺の住民は避難場所まで遠い状況にある。多間山に登れる避難階段を設置すると迅速に避難できる。

**答** 町長 ポンプ置場から現在の避難路まで約200mの距離であり、健康者は3分で行ける。階段設置は現実的に急勾配なので利用しにくい。代ヶ崎浜地区自主防災会からの要望も出ていない。避難は現在の町道を考え



ここに避難階段を

**問** 関係団体の会員にどれだけの説明をしているのか。永年にわたり自力で事業をおこし頑張ってきた町内事業者と、支援金で参加する町外事業者とが競合すれば町内事業者が経営難に陥る恐れもある。

**答** 町長 町民報テレビCM大賞への参加等も有効ではないか。



七里ヶ浜での公演 (Groove7)



やすし 靖志 議員

# 家庭用の雨水タンクに補助金を

## 町長 現状で実施の考えはない

**問** 町長 雨水貯留槽設置への補助制度は、現在東北地方で4自治体の実施している。いずれも大雨による被害防止を目的とした、いわゆる雨水流出抑制施設の設置に対する補助が基本となっている。

**答** 町長 雨水の有効利用のため、家庭用の雨水貯留槽（雨水タンク）の設置という方法がある。屋根に降った雨水を集めてタンクに貯水することで、通常はその水を庭や草木への散水などに利用でき、雨水の活用による節水にもつながる。さらに震災などの非常時には、飲み水以外の生活用水として利用できる。そこで、雨水貯留槽を設置しようという家庭に補助金を出す考えはないのか。

**問** 今後、どのようにして検討させてみたい。

**答** 町長 現在町として雨水流出抑制対策は、緊急の課題ではないと考えているところから、補助金制度の実施の考えはない。雨水の有効利用のメリットなどを今後、積極的に啓発をしていきたいと考えている。

**問** 今回、東日本大震災を経験しても補助金を出さないということだが、こういう雨水貯留槽は補助金に見合う効果がないという判断なのか。家庭用の200リットルから500リットルくらいのタンクの型で、だいたい5万円くらいだと聞いている。市川市では助成率が2分の1、限度額が2万5000円となっている。このような場合、どのように考えるのか。



家庭用の雨水貯留槽（雨水タンク）



ちば しみえ 千葉 志美枝 議員

# 介護支援ボランティアの導入を

## 町長 制度の複雑さも有り難しい

**問** 介護支援ボランティアは平成19年国の認可を受けた有償ボランティア制度である。運営は自治体が介護予防事業として行い、65歳以上の高齢者にボランティアの活動実績に応じて、ポイントを付与し換金する。現在予防の一つとして広まりつつあるが、本町では

**答** 町長 町内の第二清楽苑や自生苑、デイサービス海の宮、鈴乃音などへ約7団体30人ほどである。

**問** 団魂の世代が高齢化を迎える時期にあたって介護予防を一層促進させる必要があるが新たな施策は。

**答** 町長 限られた財源で最大の効果を生むよう、平成27年度から29年度の次期介護保険計画で検討していく。

**問** 高齢者の社会参加活動を通し介護予防を進めるために、本町でも介護支援ボランティア制度の導入を図る考えは。

**答** 町長 震災後の町の発展、活力あるまちづくりには多くの町民の参画、特に若者の力は必要不可欠と考える。

**問** 農漁業や商工業、諸団体など広く若者の声を聞く場として「青年模擬議会」を開催する考えはないか。

**答** 町長 就任以来、福祉や産業のまちづくり、震災復興計画の策定にかかわるワークショップの開催など若者の参画、意見の場を数多く設けてきた。

**問** 各地区の青年団体や農協、漁協の青年部組織も今は存在していないと聞いているので町主催での開催は一過性の傾向が強く厳しい。自らの意志で組織をつくり活動することには協力したい。

**答** 町長 本町では小・中学生を対象に子どもゆめ会議が開催され、児童・生徒の立場から環境問題などの提言がなされている。青年層にも主張や提言の場を設け、活力あるまちづくりに若者の力が不可欠と思うがどう考えるのか。

**問** 本町では小・中学生を対象に子どもゆめ会議が開催され、児童・生徒の立場から環境問題などの提言がなされている。青年層にも主張や提言の場を設け、活力あるまちづくりに若者の力が不可欠と思うがどう考えるのか。

**問** 若者との地域懇談、意見交換の場として従来行ってきたことは。

**答** 町長 若者との地域懇談、意見交換の場として従来行ってきたことは。

若者の力に期待



若者の力に期待

**問** 宮城県内で実施している自治体はない。理由は仕組みや事務手続きが複雑面倒なこと、ポイントの対象にならない

**答** 65歳未満の人との不公平さにある。また、本町のようにボランティアをしている人のほとんどが見返りを望んでいない地域性などがあり現段階での導入は難しい。今後国、県へ簡単な方法などを申し入れたい。

## 「青年模擬議会」を提言の場に

### 町長 町主催では一過性の傾向が



# 松ヶ浜幼稚園

春



当園は、松の緑に囲まれ松ヶ浜小学校に隣接し、静かで落ち着いた場所にあります。夏は涼しく、冬は暖かい七ヶ浜の温暖な気候に恵まれ、季節を肌で感じられます。真っ白なフェリーやさまざまな船舶の往来する大海原を一望できる広い園庭で、さわやかな潮風に吹かれながら子どもたちは元気いっぱい駆け回っています。

夏



**沿革**  
昭和33年5月松ヶ浜保育園として発足し、昭和43年学校教育法に定められた幼稚園として県知事の認可を受け、今までに2473名の卒園生を送り、七ヶ浜町の幼児教育の向上に鋭意取り組み現在に至っています。  
平成元年には、太平洋を一望する広い園庭も完成し、子どもたちも身体いっぱい伸び伸びと活動できるようになりました。

冬



**教育方針**  
学校教育法に定められた幼稚園教育要領（健康、人間関係、環境、言葉、表現）に基づき、生活に根差した保育を大切にす  
る中で、心と身体を鍛え、たくましく生きる健全な社会人としての人格形成の基礎づくりを教育方針とします。

秋



## 目標とする子ども像

- ☆生き物の命を大切にす  
る思いやり。
- ☆自分の意志や考えをき  
ちんと持って、友達と仲  
良く行動ができる。
- ☆人に頼らず意欲的に取  
り組み、最後までやりぬ  
く。
- ☆自分の身の回りのこと  
は、きちんと自分ででき  
る。
- ☆正しい言葉づかいがで  
き、人を敬う心をもてる。
- ☆善悪をわきまえて行動  
ができる。
- ☆物を大切にす。

# 追跡



## どうなったの？

## あの質問のゆくえ

定例会での質問がその後どうなったのか。  
今回は太陽光発電などクリーンエネルギーに関する質問を取り上げました。

### 公共施設の省エネ対策は

二酸化炭素削減のため公共施設に太陽光発電システムを取り入れ環境教育に活かす考えは。  
〈平成22年6月定例会一般質問〉

答弁

### 町長：太陽光パネルは将来設置したい

エネルギー教育は将来を担う子どもたちのためにも、取り入れるべきであり将来はぜひ設置したい。

そして

- 災害時に避難所となる
- 役場
- 国際村
- 生涯学習センター
- 各小中学校

年次計画で設置を予定。

平成25年度は役場と国際村に設置。

### 太陽光発電設置住宅へ助成を

被災者の住宅再建や化石エネルギーに頼らない住宅づくりをする世帯に太陽光発電設備等費用の助成を。  
〈平成24年6月定例会一般質問〉

答弁

### 町長：検討していきたい

住民への助成は今後検討していきたい。

そして

### 助成が実現しました。

補助金の交付額	
一般の世帯	3万円/kw (9万円を上限)
震災で被災した世帯 <small>(全壊・大規模半壊と判定された世帯)</small>	6万円/kw (18万円を上限)

平成23年3月11日以降に設置した世帯にもさかのぼって補助されます。

# 町民の声

あべ たくと  
阿部 拓人さん  
(24年度 向洋中卒業)



## 海とともに生きる

私にとって海はいつも身近にありました。幼いころから私は豊かなこの海でサーフィンをしています。私にとって海は楽しい場所でしたが、あの日の海は車や家などのすべての物を飲み込んでいく恐怖の海になったのです。

3月11日を境に一変してしまった生活を取り戻そうと、向洋中生にも何かできることがないかと思いハザードマップを設置しようと考えました。

それは危険な場所に誰が見てもすぐに理解し、避難してもらうためのものです。向洋中生の考えを実現させるため、私たち生徒会は子どもゆめ議会で提案しました。

私は生徒会長として、ゆめ議会の議長に任命され、他にどんな議案が出るか期待と不安でいっぱいでした。議会では費用や管理・運営についても各学校に対して指摘され、実現のための助言をいただきました。

議長を務めさせていただいて私は、一人一人できることは小さいけれど、私たちのような若い世代が七ヶ浜の未来を真剣に考えることが、復興のなよりの手助けになると感じました。

あの震災から二年以上が経ちましたが、これからも七ヶ浜のために心をつににして、前に進んでいきたいと思います。

## 入学式が終わって（表紙写真）



4月8日の午後、町内3小学校で入学式が行われました。会場にはきらきら輝く子どもたちの眼と元気な声があり、嬉しそうなお父さん・お母さんの顔がありました。

汐見小学校の入学式が終わった1年2組の教室を訪問しました。黒板の前で全員の写真撮影になりましたが、一番喜んだのは一斉に写真を撮るお父さん・お母さんだったようです。



わがつま はやと  
我妻 颯音くんのお父さんとお母さん

校長先生のお話にあったように、元気にあいさつのできる子どもになって欲しいと思います。

まつら かのん  
松浦 夏音さんのお父さんとお母さん

初めてのことで大変感激しました。いい入学式でした。



町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

# 議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は6月5日開会予定です

面倒な手続はございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください  
詳しくは議会事務局まで ☎357-7435

または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。 <http://www.shichigahama.com>

発行責任者	議長	委員	副委員長	委員	議会広報編集特別委員会
佐藤 梶信	渡邊 淳	遠藤 喜二	角 靖志	糸久 博	岡崎 正憲

皆様の手元に「議会だより」が届きました。始めにどこをご覧になりますか。表紙ですね。これで中身を読むかが決まると言っても過言ではありません。

しばらく入学式関連の写真掲載しませんでした。やはりかわいいものです。今まで、表紙写真は編集委員が交代でテーマを決めて撮っています。手引きには、遊び心のある読者がハツとするような写真を使うとあり、これが難しいのです。

少しでも魅力ある議会だよりになるように今後も努力と勉強を続けたいと思う編集最終日です。

岡崎 正憲

編集後記

